



谷 義樹

一、新町長の考えについて 二、選挙公約について 三、東郷地域創設非農用地について

新町長の考えについて

問 「行政の一貫性と継続性」について、どう考えておられるか？

答 まちづくりや福祉・医療、防災対応などについては、一貫性と継続性が大切であると考えている。しかし、社会経済情勢や個人の価値観の多様化等もあり、新たな発想も必要と考える。

問 「新しい価値観に基づいた変革」とは、具体的にどういうことか？

答 住民参加型を深めるということ、従来の考え方や仕組みから脱却する変革も考えている。

問 迎合主義について、どう考えておられるか？

答 民意にしっかり耳を傾け、住民の意見を尊重することは迎合主義とは異なると考える。また理念なき迎合によって大局を見失わないためにも、曖昧な決断をしてはならないと考えている。

住民自治基本条例（町づくり基本条例）を制定する考えはないか？

答 現時点では予定していない。

問 住民自治基本条例は、町長が今言われた、一貫性や継続性としてのまちづくり、住民参加や住民投票の権利等を定めている。今後制定する気はないか？

答 幾つか入手して調べたが、実際の話は聞いていない。タウンミーティング等と連動させ、条例で活性化していける目途がつけば、考えていきたい。

選挙公約について

問 選挙公約実現の見通しは？

答 公約達成に向けて全力で取り組むことが私の務めで、スキームについては組織の機構改革を行う中で、具体化させたい。直ちに成果とはいえないが、コンセンサスを得ながら住民の負託に誠実に

応えていきたい。

問 「能勢町版骨太の方針2012」の扱いは、どうなるのか？

答 現状認識に大きな変わりはなく、改訂していない。しかし学校再編事業については各論において齟齬があり、所信表明と公約に関する事項についても具体化させるべく、三月議会で提言したい。

東郷地域創設非農用地について

問 非農用地の創設経緯について、調査されたか？

答 府営の圃場整備事業によって創設され、現在は能勢けやきの里として、地域の方々が農産物の直売所として運営されていると認識している。

問 「道の駅」建設に向けての、取り組みが出来ないか？

答 能勢町東土地改良区をはじめ、国、府等の関連機関との協議を図りつつ課題を整理して検討していきたい。

一般質問



木戸 俊治

一、活気あるまちづくりへの政策実現とは 二、次年度予算編成に向けた町長の考えは

活気あるまちづくりの具

体策を問う

問 「活気あるまちづくりへの政策実現」を掲げて当選されたが、人口減少を止める手段、能勢に人を呼び込む施策等実現に向けて具体的な考えを伺う。

特に観光課、活性課の新設等機構改革と今後の進め方、農地集積化の推進と農業活性化の拠点づくりについてどのように考えるか。

答 観光をはじめ、農業や環境など地域資源を活用した活性化策については私の公約の柱である。活性課と観光課を早い時期に新設して、農業振興、働く場の確保、観光の受け皿づくりなど可能性を検討したい。

また、農業基盤の強化に向けた取組みは必要で、能勢ブランド農産物の開発など農業の活性化を図りたい。

活性課の新設で、その道に精通している人に入ってもらい取りかかりたいと答弁されていたが、具体的なメドは。

答 こういう人であればリードしてもらえるかなという目安的なものは持っている。

問 能勢を全国に発信する方法は。

答 ホームページ等を活用し、観光課という窓口を大きくし、能勢町のいろんな所にリンクできるITを使った方法、それからもう一つ口コミもすごく効果があると思う。

問 国道477号「道の駅」構想等前町政の継続推進について伺う。

この件については、早く関係者で話をまとめてほしい。また駐車場20台位の規模であっても他に例があることも伺ってお

り、実現に向けて取りかかりをお願いしたい。

「道の駅」構想について、東土地改良区を始めとして、国、府などの関連機関と協議しつつ課題を整理し検討したい。

次年度予算編成に向けた町長の考えは

問 農業や観光を柱に町長独自の施策を展開するにあたり、次年度予算編成に向けた方針は。

答 学校再編整備や、火葬場建設など主要事業が町行政に与える影響についても確認し、既存の事業の精査を図り、可能な限り財源を捻出し、本町の活性化を図る施策を具

体化するため、3月の定例会に提案したい。

